

## 『密のある青春時代』



### 先行き分からぬ小学校時代

この時代は、意外と自分の気持ちを出すことができなかったで、周りの人に、そういうつもりでないのに、意図しない誤解をされたりが多かった。しかし、それは自分のせいだと思う。色々な原因があると思うが、性格も自分の中での見通しもはっきりとしていなかったで、そうだった。もっと、はっきりと伝えるべきだった。

### 転機が訪れた中学校時代

中2くらいの時に、お笑いコンビのサンドイッチマンさんの存在を知り、彼らが震災の時に支援などを続けていたことを知った。自分が周りの人に迷惑をかけてきた。だから、ちゃんと勉強をして知識を付けた上で周りの人を助けられるようになろうと思ひ立ち、転校してやり直したりした。思春期だったので、いろいろ周りが見えていなかったことがあったけど、それは自分で乗り越えないといけないものだったと今は思っている。

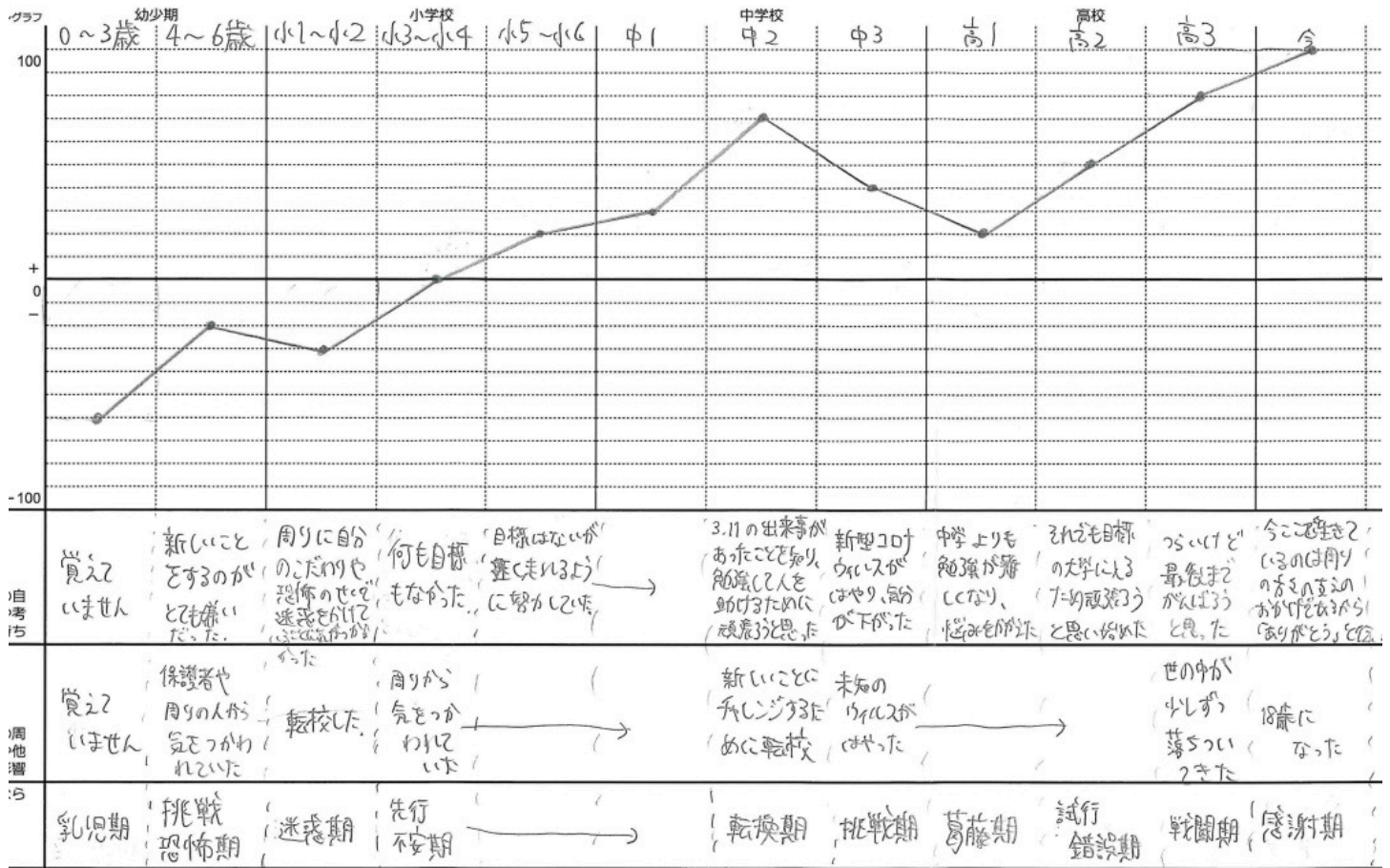
### 葛藤した高校時代

このころは新型コロナなどが流行り、行事や学校生活が制限され、毎日の生活のありがたみが分かった。これは震災でも同じことが言える、と被災した人たちの気持ちを考えるきっかけとなった。高校は中学よりも勉強がきつめだったけど、自分で立てた地震研究の夢は最後まであきらめなかった。また、大学受験を始め、いろいろなことを経験したから少し昔より考え方が変わった。特に、昔よりも表情が豊かになって笑顔で接しようと思えるようになった。あまり細かいことを気にしなくなり、気持ちに少しゆとりができたからだと思う。今ここで生きているのは、周りの方々のサポートのおかげであるから、しっかり感謝しないとけないと思っている。

### ティーンズ後輩へ一言

最初はティーンズがどういう場所なのか分からなかった。しかし途中から、僕はコミュニケーションをとるのが苦手だと気づいて、少しずつティーンズがコミュニケーションをとる練習の機会になる場所だと気づいた。そして、中学時代に転校して色々友だちと関わる中で世の中にはいろいろな考え方を持つ人がいると知った。だから、ティーンズはどんな考えでも違った角度から受け入れてくれる、多様性を認めるような場であることに気づいた。今この時代は多様性が大切と言われてはいるけれど、実現していないところもある。でも、ティーンズは多様性を受け入れる場所の一つなので、感謝している。ティーンズは色々なことを教えてくれるから、積極的に相談をしたり、自分の気持ちを伝えたりすることがとても大切です。

# 18年間のモチベーショングラフ



小学校：私立通常級⇒中学校：私立通常級（転校）⇒高校：進学校⇒国立大学理学部進学

利用時期：2016年12月（小5）～ 2024年3月（高3） 参加プログラム：週1日の個別セッション

利用時期：2016年12月（小5）～ 2019年12月（中2） 参加プログラム：月2回の週末お仕事体験

ティーンズで行っていたこと：相談、勉強の計画

長所：負けず嫌い、がんこ、前向き、見知らぬ人には繊細、意外と感性が豊か

過去の自分に一言：あきらめずに何事にもチャレンジしてください。